

# 弥生順風



## ◎ 新年度にむけて

### ○ 春休み課題と提出期限の確認を

各教科、科目で課題が出ており、課題考査も実施されます。課題の内容、提出日を再度、掲示や配布されたプリントで確認しておいてください。今後、2年生からは文系・理系、また選択科目によってそれぞれ課題が違ってくることが多くなります。くれぐれも2年生からは自分で確認をお願いします。

教科・科目	課題	課題考査
国語	<b>【現代文】</b> ・プログレス現代文総演習 26 共生と共死～30 知の思想 ・高校漢字の学習 P90～P97 <b>【古典】</b> ・臥薪嘗胆 教科書 P132～授業で進んだところまで ・助動詞がわかる徒然草でわかるクリアノート 9 第二百三十五段～16 第五十八段 ・力をつける古典 27 説苑～28 世説新語 [提出]: 考査日(プログレス現代文・…クリアノート・力をつける古典)	○ 別紙確認
数学	① Focus Gold 数学Ⅱ+B の指定番号の練習問題 ノートに解く。 ② Focus Gold 数学Ⅰ+A またはⅡ+B の指定の練習問題以外から、 * 2つ以上の問題を10題以上選び、ノートに解く。 [提出]: 考査日(ノートは数ⅡとしてⅠ冊にまとめる)	○ (考査範囲 数Ⅱのみ) 別紙確認
英語	○ UNITE 3 Lesson 1～4 ○ 英Ⅰテキスト PRO-VISION Reading 2 ○ EXG 課題プリント 配布済みの品詞～発展プリント8枚 ○ システム英単語 P156～P175 [提出]: 考査日(UNITE 3・EXG 課題プリント)	○ 別紙確認
化学 (理系のみ)	① ニューグローバル 化学基礎+化学 P65～P66 79～85 P73～P75 88～96 P85～P87 105～120 ② 1年生に学習した内容復習 [提出]: 4/7(水)〈始業式〉(ノート←当日、新クラス、新番号を必記入)	× 別紙確認
総合探究	○ 小論文模試リライト [提出]: 4/7(水)〈始業式〉(解答用紙←当日、新クラス、新番号を必記入)	×

\* 雑巾2枚: 4/7(水)〈始業式〉に持参、提出をお願いします。


### ○ 4月当初の予定

<b>4/7(水)</b>	～ 8:30	新クラス名列番号確認(昇降口、2F教室入り口に掲示) (自転車置き場、下駄箱は旧学年のまま)
	<u>8:30</u>	<u>2F旧クラス番号のHRに名列順で着席</u> <b>【時間厳守で】</b> (旧1-1⇒2-1HR, 旧1-2⇒2-2HR・・・)
	8:30～9:10	旧クラスLHR(配布物→新クラスへ移動回収します。) 新クラスLHR
	9:30～10:20	新任式・始業式
	10:20～12:00	大掃除・入学式式場準備
	12:00～12:35	LHR <b>* 4/7提出課題、雑巾2枚持参</b>
<b>4/8(木)</b>	8:30～8:40	SHR
	8:50～9:40	1限 課題考査 国語
	9:55～10:45	2限 課題考査 数学
	11:00～11:50	3限 課題考査 英語
	12:00～12:10	帰りのSHR <b>* 4/8提出課題持参</b>



○ 4月の主な行事予定 (変更・追加があるかもしれません。予めご了承を。)

7(水)	1 学期始業式 新任式 大掃除 入学式準備	← 春休みの課題 提出
8(木)	課題考査【1.国・2.数・3.英】(AM) * PM 入学式↓	← 余裕をもって、
9(金)	授業開始(6限)	(2年生は出席しません) 計画的に、
13(火)	進路 LHR	期限厳守で!
15(木)	総合探究ガイダンス	随時
16(金)	生徒総会 離任式	内科検診
20(火)	クラブ集会	↓ 歯科検診
		↓ 検尿




○ 「不得意」を、「得意」にしてみせる！

先日、1月の進研模試が返ってきました。どの教科も1年生で学習した内容全般を思い出しながら、2年生の授業が始まる前に何を強化したら良いのか、「できるだけポイントを絞って」、「できるだけ具体的に」、自己分析をしてみましょう。

4月始業式後は、再び毎日授業が始まります。弱点強化に取り組むためには、この春休みが一大チャンスです。ただ、いつも『しっかり取り組んで変わっていく人』と『わかっているけどできない人』がでてるのも常です。

『夢なき者に 理想なし、  
理想なき者に 計画なし、  
計画なき者に 実行なし、  
実行なき者に 成功なし。  
故に、夢なき者に 成功なし。』 吉田松陰



行動しなければ、何も変わりません。  
『「不得意」を、「得意」にしてみせる』という本気が必要でしょう。

◎ 自分を振り返る！

高校生になって1年がたちます。休校に始まり、学校が再開しても消毒、換気、密を避けるために行事の中止・・・と、皆さんも先生方も初めての経験、先の見えない、予定の立たない日々で大変でしたね。一度ゆっくり、この1年と自分を客観的に振り返ってみましょう。

1. 生活心得3ヶ条

- ①挨拶礼儀・・・ しっかりと挨拶ができています。 【YES・NO】  
目上の方には正しい言葉遣いができています。 【YES・NO】
- ②時間厳守・・・ 早めに行動を起こし時間に遅れることはない。 【YES・NO】  
提出物は余裕を持って準備し期限に遅れることはない。 【YES・NO】
- ③整理整頓・・・ 学校や家で自分の持ち物を整理している。 【YES・NO】  
頭の中でやるべきことを整理し優先順位がわかっている。【YES・NO】

2. 磨くセンス3ヶ条

- ①ルール・・・ 学校、社会でのルールに対して規範意識を持っている。 【YES・NO】
- ②モラル・・・ ずるいことはせず、正しい行動を心がけている。 【YES・NO】
- ③マナー・・・ 自分勝手はせず、相手や周囲のことを考えた言動を心がけている。 【YES・NO】

3. 目指す能力3ヶ条

- ①意思決定能力・・・進路など、自分の意思で決断し、責任と覚悟を持っている。 【YES・NO】
- ②自己実現能力・・・目標に向けて最大の努力と最善の方法を尽くしている。 【YES・NO】
- ③社会適応能力・・・置かれた環境の中で努力する柔軟かつ強い意志を持っている。 【YES・NO】

4月には新入生が入ってきます。しっかりした立ち居、振る舞いを心がけ、後輩たちを背中から引っ張る先輩であってほしい欲しいものです。

→ウラへ

## ◎ 桜 最速の開花！



3月11日に全国で最初となるソメイヨシノの開花が広島で観測されました。これは広島で最も早い開花だった3月19日(2004年)の記録を大幅に塗り替え、観測史上最も早い開花となります。

また、16日に京都地方気象台は二条城の標準木により桜(ソメイヨシノ)の開花を発表しました。記録に残る1953年以降、最も速い開花で、従来の記録は2002年3月18日でした。

桜の花芽は、寒さにさらされた(休眠打破↓)後、気温の上昇で成長します。

今年は1月の低温や2～3月の暖かさと相まって非常に早く開花したとみられるそうです。

### 休眠打破

桜は夏に翌春咲く花芽を形成する。いったん休眠に入った花芽が、冬季に一定期間低温にさらされ休眠から覚めること。その後の気温上昇と共に花芽は成長して開花に至る。冬暖かすぎると春先の気温が高くても開花が遅れることがある。

この春休み、各地で桜は満開になります。冬の厳しい寒さを経験しなければ咲かない、しかも1年間で今しか咲かない、しかもすぐに儂くも散る桜。桜の名所を訪れるのではなく、近所や身近で咲いている桜を一度、ゆっくり眺めてみてください。

**花の色は 昔ながらに見し人の 心のみこそ うつろひにけれ** 元良親王『後撰和歌集』より  
(桜の美しさは昔からずっと変わらない。変わるの、それを見る人の心だ。)



百花春至為誰開 (百花、春至って誰がためにか開く) 『碧巖録』

花は一体、誰の為に咲くのでしょうか。

誰の為でもありません。何の為でもありません。何の計らいもなく、自分の生命の赴くままに自分の全生命を無心に発揮して、「ただ、ただ」咲いているのです。



沈丁花の香りを吸うのを忘れていた。3月初旬。いつもなら散り際を覚えていて、本格的な春の訪れを感じていたのに・・・。マスクのせいだろうか。マスクのせいばかりではないようだ。ゆっくり考え、丁寧に生活することを、忘れていたのだ。落語を聞きながら11時就寝、6時半起床。時々テレビ体操。朝食。8時半書斎または学校へ。この基本リズムが、変わってしまった。3月中旬から、テレビの前から離れられなくなった。連続テレビ小説の結末も見忘れた。ほとんど同じ内容なのだが、テレビのコメンテーターの話に引きずられる。情報が錯綜、回転して、不安な渦の中に引き込まれそうだ。

春休みは、30年ぶりに生月島（いきつきしま）から、島原、天草、水俣へと回るつもりだった。納戸神（なんどがみ）のマリアに会いたかった。天草四郎、鈴木神社、石牟礼道子・・・。旅への思いが夢に駆けめぐる。しかし時刻表は机に放置されたまま・・・。どんなに気を付けていても、このコロナウイルスには罹ってしまうのだ。そう思って覚悟を決めてはいるが不安だ。迷惑をかけてはならない、移してはならない。郵便物を受け取っても手を洗う。神経がまいってくる。しかし、グダグダ愚痴っても致し方ない。医師会の指示を受け、人混みを避け、家の周りの1時間の散歩を日課にした。ニチリンソウ。オドリコソウ。オオイヌノフグリ。ホトケノザ。ムラサキケマン。今まで覚えられなかった花の名が毎日の散歩で、胸に小さな明かりをともしようになった。

ネットの新聞記事にも目を通すようになった。3月27日のデイリースポーツの記事が飛び込んできた。白血病で闘病中の広島カープのかつてのエース北別府投手が、コロナウイルスで陽性反応の出た阪神タイガースの期待の若手、藤浪投手に送った言葉だ。「運が悪いと思うなよ。申し訳ないと思うなよ。しっかり治して阪神ファンを 野球ファンを マウンドの上から喜ばせて下さい。もちろん私もその姿を待っているし、復活する姿を見たいと思っていますよ」。胸が熱くなった。もしも、学生が罹患したらこの言葉をかけられるだろうか。「何やってんだよ。何処をぶらぶらしてたんだ。勝手な行動で迷惑がかかるんだぞ」。そんな言葉を吐き出しかねない自分がある。白血病と云う苦しみの中にいることで、本当のやさしさが言葉になったのだ。優しいは、人の憂いと書く。憂いを共有できるのが人のやさしさだと云うのだろう。また、「やさし」の語源は、「瘦せる」だとも云う。己の身を細らせる時、やさしさが生まれると云うのだ。

今世界中が病の中にある。だからこそ生まれるやさしさがあるはずだ。本当の思いやりが、やさしさを生み出していかねばならない。多くの悲しみや苦しみを通り抜けてきた老いたる者がゆえに、やさしさの牽引者になれるのだ。それはコロナ感染ですさんだ世の中での老人の責任なのだ。見上げると、桜が満載だ。松尾芭蕉に、若い弟子と久しぶりに出会った時に詠んだ句がある。

命二つ中に生きてるさくらかな

他者との関係、濃厚接触の中でこそ命が生まれる。  
桜の下、命二つがたまさかの出会いを祝福するのだ。  
やさしさを胸いっぱい吸い込みながら出会いの時を待ちたい。



令和2年初夏

渡辺憲司：自由学園最高学部長、立教大学名誉教授